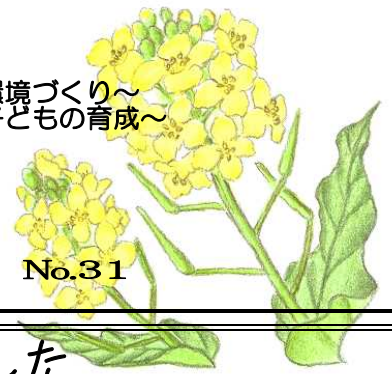


# 伸びる力

2020, 3, 26(木) No.31



## 120名が元気に巣立っていきました ～令和元年度 第135回卒業証書授与式～

柔らかな日差しに桜の蕾がほころび始めました。学校の花壇のパンジーやキンセンカ、ノースポールも満開に近づいています。

さて、3月19日(木)に、春の陽光が降り注ぐ中、令和元年度第135回卒業証書授与式を挙行了しました。本年度は、新型コロナウイルスの拡大防止のため、ご来賓や在校生の参加を見送り、本式には、卒業生と保護者、教職員のみで行いました。卒業生が座る椅子の間隔を空け、マスクを着用し、来場の際には手の消毒も実施しました。また、教育委員会告示や来賓祝辞、PTA会長あいさつは、プリントを配付することに代え、保護者代表あいさつも省略することとしました。卒業式の練習の時間がほとんど取れず、ぶっつけ本番の状況の中で行う形となりました。さらに、卒業生の顔が見えるようにということで、対面式の形で実施することとしました。

卒業証書授与では、まず、卒業生120名全員が担任から呼名をされ、返事をした後、私から卒業生の前に向いて一人ひとりに卒業証書を渡しました。

私の式辞では、松陰先生の『朋友相交わるは 善導をもって忠告すること 固よりなり』の言葉を引用し、人を大切にすることの意味について話をしました。(式辞文は、記事の最後のとおり)

卒業生による「お別れのことば」では、6年間の思い出や保護者、地域の方々、教職員への感謝の気持ち、卒業することについての新たな決意などを呼びかけの形で、言葉と歌にして伝えることができました。マスクをしていたにもかかわらず、声をしっかりと出し一生懸命さが伝わってきました。その真摯な姿を観ていると、熱いものがこみ上げてきました。

最後は、卒業証書をもって、胸を張って堂々と会場を後にしていきました。ほとんどぶっつけ本番の状況の中で卒業式を行いましたが、さすが最高学年で、多少のトラブルにはびくともせず、式の態度も呼びかけや歌も大変立派で、自分たちの力で式全体を引き締めてくれました。卒業生のみなさん、ありがとうございました。

保護者の皆様にはマスクの準備や手の消毒など、いろいろとお世話をおかけしましたが、ご理解とご協力をいただき、無事、卒業証書授与式を終えることができました。重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。

卒業式の前日、式場や教室、玄関、廊下などに花生けボランティアの4名の方々がお花を生けてくださり、会場までの環境を整えていただくとともに、卒業をお祝いしていただきました。また、地域の方々から多くのお花の提供をいただきました。お陰様で卒業式らしい雰囲気が出る所に醸し出されました。心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



## 人を大切にする人こそ 本物の幸せを手に入れることができる

### 式 辞

柔らかな春の日差しを浴びた、桜のつぼみが綻び始めた今日のこのよき日、保護者の皆様の御臨席を賜り、令和元年度卒業証書授与式を挙行できますことは、私どものこの上ない喜びであり、心から感謝申し上げますとともに、今年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、やむを得ないとはいえ、御来賓や在校生とともに卒業生を送り出すことができなかつたことは、大変申し訳ないと思っています。

さて、小学校六年間の課程を修了し、卒業証書を手に入れ、本日、萩市立明倫小学校を巣立ち行く卒業生のみなさん、御卒業おめでとうございませう。みなさんは、六年間の小学校生活を立派にやり遂げ、素晴らしい思い出をたくさん残して、今、新たな世界に飛び立とうとしています。

六年前、みなさんは保護者の方に手を引かれ、今では小さく感じる真新しいランドセルを背負い、新しくなつたこの校舎に入学してきまされた。雨の日も風の日も、暑さ寒さにも負けず、本校に通い、勉強や運動に励み、心も体も大きく成長してきまされた。

特に最後の一年間は、萩藩校明倫館三百年という節目の年となるとともに、令和という時代の最初の年となり、最上級生として学校行事や委員会、クラブ活動などで全校児童をリードし、その責任を立派に果たしてくれまされた。

秋季大運動会をはじめ、陸上記録会や縦割り班活動、集会活動などでも活躍し、その姿が全校の誇りとなり、目標となりました。まさに本校のめざす児童像である「ひたむきな子」「ぬくもりのある子」「さわやかな子」を先頭を切つて見せてくれたのです。

そのみなさんも四月からは中学生となります。卒業にあたり、みなさんに松陰先生の「朋友相交わるは 善導をもって忠告すること 固よりなり」という言葉を贈ります。

友達と交わるには真心を持ち、よい方向に導くように進めることは言うまでもないことであるという意味で、人とのよりよいかかわり方の大切さを解いた言葉です。

インターネットやスマートフォンの普及・発展により、人のかかわりが希薄になってきていると言われてはいますが、かかわりなくして自分を高めることや信頼関係を築くことはできません。なぜなら、人は一人では生きていくことができないからです。

みなさんはこれから多くの人と出会い、切磋琢磨したり、時には意見の衝突が起きたりすることもあるでしょう。また、泣きたい日も絶望に嘆く日もあるかもしれませう。

そのような時に本当に力になってもらえ、支えてくださるのは、友達であり、家族であり、これまでかかわつてくださった方々であり、そして、これから出会うであろう多くの人たちなのです。

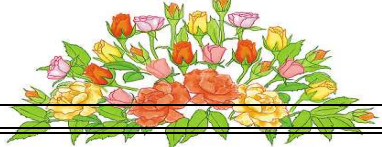
人を大切にする人は、人からも大切にされ、人を大切にする人こそ、本物の幸せ、即ち、人としての生き方を手に入れることができるのです。そのことを忘れないでほしいのです。

保護者の皆様、お子様が立派に小学校を卒業されまされたことを心よりお祝い申し上げます。小学校卒業という節目を迎えられ、これまでの御苦勞も大きな喜びに変わつてはいることと存じます。この六年間、本校の教育活動に格別の御理解と御協力をいただきましたことを全教職員とともに感謝いたしております。これからも、お子様が健やかにたくましく成長されまされたようお祈り申し上げます。

名残は尽きませうが、萩藩校「明倫館」の流れを汲ぶ歴史と伝統のある明倫小学校の卒業生のみなさんの輝ける未来に、幸多からんことをお祈りして、式辞といたします。

令和二年三月十九日

萩市立明倫小学校長 岡野 富司雄



※ 学校経営・校長室だよりへの保護者・地域の皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。  
年 組 児童氏名 ( )

-----  
-----  
-----